R8ホテル　製図試験の添削対応

1. 添削対応

R8ホテルの予測課題は、1回目が8/10（月）、2回目が8/24（月）、3回目が9/7（月）である。

この3回の予測課題に対して、メールによる「添削対応」を実施する（会員のみ対応）。

⇒添削の一部は、名前を伏せて公開するので、他の方の図面も学習できる。

研究会の添削は、資格学校と以下の点が大きく異なる。

① 作図及び記述内容は、2時間以上かけて詳細にチェック（下図過去R4のチェック例参照）。

⇒資格学校は、作図終了後、講師のチェックを受けるが、対応人数の制限から数十分程度のチェック指導となるが、研究会は、2時間以上かけて詳細にチェックする（チェックの多さが実力向上となる）。

自分の書いた図面の詳細添削のみが合否になり、そのためには詳細な添削が必須条件となる。

注意：添削は赤ボールペンでの手書きとなる（手書きなので、それなりの文字表現となる）。

② 現在のランクⅠ～Ⅳが判明（ランク表は研究会独自のものであり試験元とは関係がない）。

⇒自分の作成した図面と記述は、どこが減点となり、そのランク評価となったかが分かる。

これにより、どこを改善すればランクⅠへ入るか等の判断ができるようになる（下表R4採点表参照）。

注意：法違反は一発不合格としているが、その場合でも全ての内容を点数化して赤入れ返却する。

2. 添削申込み方法

添削は、下記の手順での受付となる（添削は2時間以上かかることから別途4千円での対応）。

注意：1回ごと、または3回分申込も可能（ただし3回申込で作図しない分の返金対応は不可）。

---

①　添削申込メール ⇒研究会から申込メール連絡 ⇒添削費4千円/回を入金

②　1回目予測課題（8/10）、2回目（8/24）、3回目（9/7）を作図・記述して返信メールに添付

③　研究会で赤入れチェックとランク評価表を添付返信　⇒受領後から返却まで3日以内目標

注意：作図・記述は、赤チェックのためA3判PDF（スキャン）して頂きメール添付下さい。

ご入金方法は、以下の通り（一度に複数回の入金も可：その旨のメール連絡を下さい）。

●ゆうちょ銀行へのご入金方法：「セ」選択⇒「〇一九」店選択⇒「当座」選択⇒

「0292049」番号選択（7桁にて0番号追加）⇒「ケンチクシカクケンキュウカイ」選択⇒ご入金

●ゆうちょ銀行ATMの場合は、上記以外に下記方法でも入金可能です。

「00160-6」記号選択⇒「292049」番号選択⇒「ケンチクシカクケンキュウカイ」選択⇒ご入金

R4参考：「事務所ビル」の添削例（採点一覧表）

・図面および計画の要点等を点数化してランク評価を示している。

・図面および計画の要点等の内容に関するコメントを箇条書きしている。

・法違反に該当する内容を示している。

令和4年度　1級建築士の設計製図試験　　建築資格研究会

「事務所ビル　（予測課題1）」の採点一覧表

氏2022.8.19

注意：採点一覧表は、研究会独自による判断で作成したものであり、試験元の公益財団法人建築技術教育普及センターとは関係ない。

表1　採点結果　※表2に該当する場合は一発不合格（ランクⅣと想定）となる。一発不合格でも-5点で点数化する。表3と表4は、減点法に基づき、合計点で判断する（ランクⅠ～Ⅳの判定）。

採点結果の区分			評価の結果				コメント
ランクⅠ	知識及び技能を有する	合計点：80点以上	①+②の合計点		ランク評価		・図面も記述も優れた内容ですが、特に延焼ラインの法違反により一発不合格（ランクⅣ）評価となりました。
ランクⅡ	知識及び技能が不足	合計点：60～79点	78	点/100点	Ⅳ（Ⅱ）		・歩行距離の選定位置の間違いがあります。この点は、一発不合格でない可能性もありますが、厳しい評価にしております。
ランクⅢ	知識及び技能が著しく不足	合計点：60点未満	①図面得点		②計画要点得点		・上記の延焼ラインと歩行距離選定位置の間違いがなければ、93点の高得点でのランクⅠ評価となります。
ランクⅣ	重大な不適合に該当	不適合該当有	53	点/70点	25	点/30点	・計画の要点等は、（4）では理由をもう少し書いて下さい。（6）は「建築計画の省エネ」です、書かれた内容は設備計画の省エネでした。

※延焼ライン内の防火設備の書き忘れは、令和3年の受験者で一発不合格になった最大の要因です、本試験では十分注意して下さい。

表2　重大な不適合（一発不合格）　※下記に該当した場合は失格となる。　※添削では下記（一発不合格）に該当した場合でも表3の図面評価をし、採点をする（この評価採点では一発不合格内容を-5点とする）。

一発不合格の評価判断		下記に該当するもの		(5) 要求室等の欠落（一つでもあれば一発不合格）					(6)法適合違反	(7)留意事項違反
該当する	該当しない	(1) 未完成	有 (無)	事務室A（40人）	湯沸室	便所			建蔽率	バリアフリー
		(2) 指定階数・床面積違反	有 (無)	事務室B（30人）	ゴミ置場	屋上庭園（40㎡以上）			容積率	省エネルギー
		(3) 階段・EVの位置ずれ	有 (無)	事務室C（約100㎡3室）	便所（貸事務室部門）	屋外広場（100㎡以上）			高さ制限	二酸化炭素排出量削減
		(4) その他著しく逸脱しているもの	有 (無)	貸会議室（40㎡以上）	エントランスホール	電気室（約35㎡）			延焼のおそれのある部分	セキュリティ
		(5) 要求室の欠落　⇒右表参照	有 (無)	管理室	市民文化センター	ポンプ室（約20㎡）			防火区画	ゾーニング、動線計画
		(6) 法適合違反　⇒右表参照	(有) 無	リフレッシュリーム	レストラン（40人）	空調機械室			避難施設	構造（種別、架構、スパン、寸法等）
		(7) 留意事項違反　⇒右表参照	有 (無)	自販機コーナー	展示コーナー	屋上設備			3階有効率	設備計画（指定違反、PS等）

表3　図面の評価　※各項目ごとに減点数（無記入：減点無、-1：若干知識不足、-2：知識不足、-3著しく知識不足）を求め、合計した結果を70点満点から差し引きとして、図面得点とする。

図面得点	17 減点合計	53 点/70点									
空間構成	アプローチ	減点	事務室A（40人）	減点	湯沸室	減点	便所	減点	建蔽率	減点
	ゾ		事務室B（30人）	減点	ゴミ置場	減点	屋上庭園（40㎡以上）	減点	容積率	減点
15 減点小計	動		事務室C（約100㎡3室）		便所（貸事務室部門）		屋外広場（100㎡以上）		高さ制限	減点
	外		貸会議室（40㎡以上）		エントランスホール		電気室（約35㎡）		延焼のおそれのある部分	減点
	駐		管理室		市民文化センター		ポンプ室（約20㎡）		防火区画	10 減点
	駐		リフレッシュリーム		レストラン（40人）		空調機械室		避難施設	5 減点
意匠計画	意匠		自販機コーナー		展示コーナー		屋上設備		3階有効率	減点
2 減点小計										減点
	ひさし	1 減点	室名記入忘れ	減点	階数不足等	減点	バリアフリー計画	減点		減点
構造計画	構造知識全般	減点	柱（無柱含む）計画	減点	基礎構造	減点		減点		減点
減点小計	スパン割り	減点	梁計画	減点		減点		減点		減点
設備計画	設備知識全般	減点	PS計画	減点	EPS計画	減点	消防計画	減点		減点
減点小計	設備機械室計画	減点	DS計画	減点	防火設備	減点		減点		減点
印象点	図面表現	減点	スケールアウト	減点	計画の要点等不整合	減点		減点		減点
減点小計	作図密度	減点	環境負荷低減	減点		減点		減点		減点

R8ホテルの添削1回目は8/10から受付

表4　計画の要点等の評価　※各問題で減点数（無記入：減点無、-1：若干知識不足、-2：知識不足、-3著しく知識不足）を求め、合計した結果を30点満点から差し引きして、計画の要点等の得点とする。

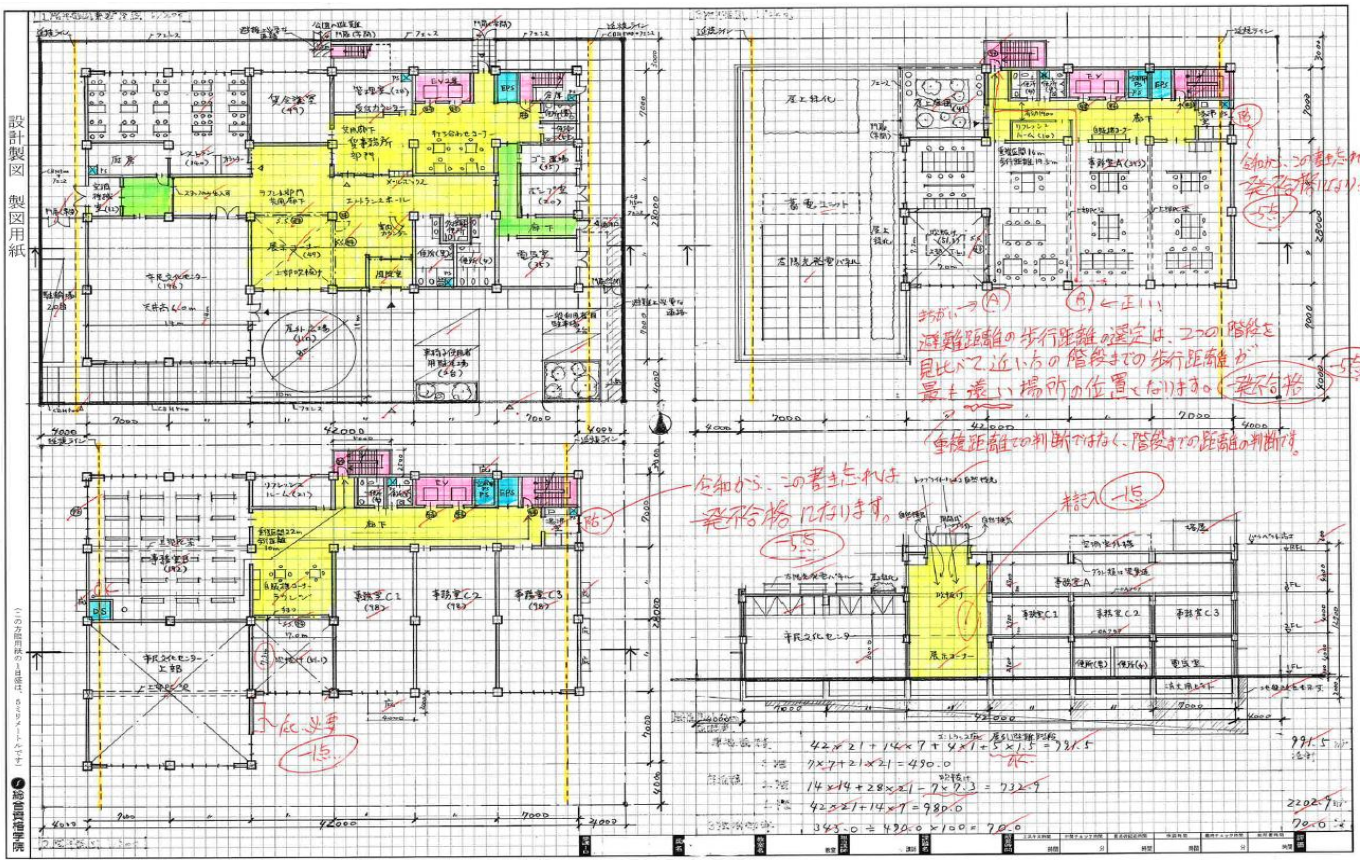
計画の要点等	計画の要点等得点	問題NO.	問　題	減点数	問題NO.	問　題	減点数
	25　点/30点	(1)	事務所部門のアプローチ計画について考慮したこと	減点	(6)	建築計画の環境負荷低減（省エネルギー等）について考慮（3つ）	2 減点
		(2)	屋上庭園の床スラブ（スラブ段差、防水対策、植樹対策等）【補足図】	減点			減点
		(3)	市民文化センターの高天井における天井等落下防止対策【補足図】	1 減点			減点
		(4)	採用した構造種別・架構形式・スパン割りと主要な部材の断面寸法	2 減点			減点
		(5)	屋上庭園の床スラブ（スラブ段差、防水対策、植樹対策等）【補足図】	減点			

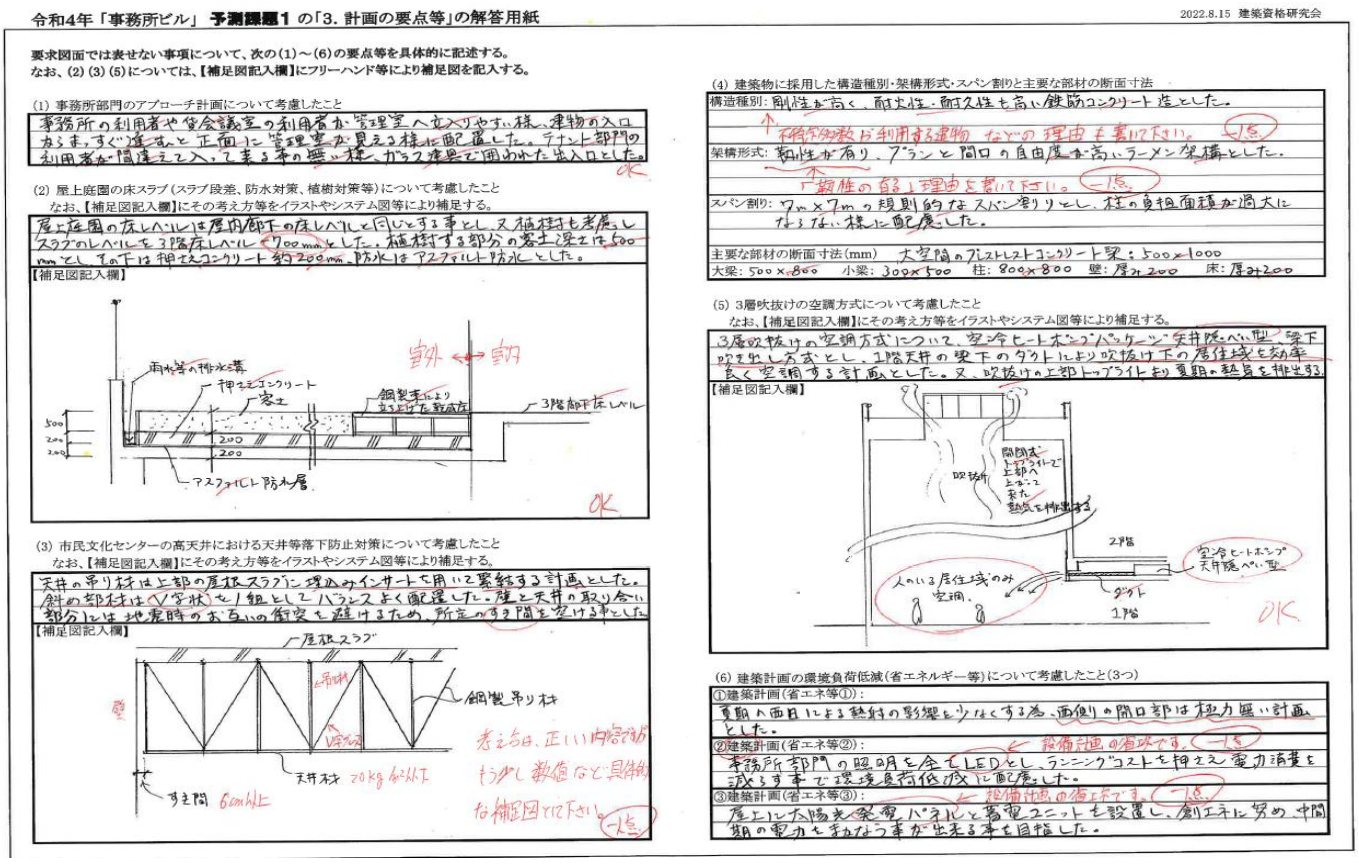
・図面の減点内容を記載している。

・計画の要点等の減点内容を記載している。

R4参考：「事務所ビル」の添削例（図面）

注意：予測課題の解答図用紙はHPに掲載するが、それの活用または市販方眼紙を活用どちらも可能。



R4参考：「事務所ビル」の添削例（計画の要点等）

注意：3種類の予測課題は、それぞれ下記のような解答用紙をHPにアップするので、それにご記入ください。